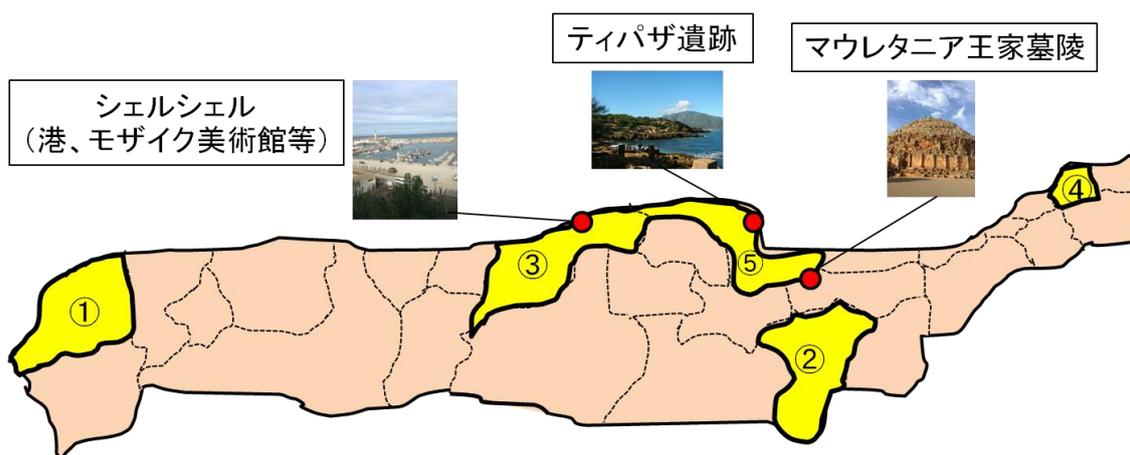


ティパザ県の治安情勢（2013年1～6月）

ティパザ県にはアルジェリアの世界遺産の1つが所在し、同所は邦人観光客が訪れる主要な観光地ですが、最近、以下の通り治安上の事件が数件発生していますので、来訪される場合は、単独行動をしない、夜間に外出しない、地元の案内人なしに行動しない、人気のないところに行かない等、十分に御注意頂く必要があります。



① ダムース地区

3月28日、軍は、事前情報に基づきテロリスト1人を殺害、カラシニコフ銃1丁を押収【掃討作戦】

② ブルキカ地区

4月28日午後、帰宅途中の警護隊員3名がテロリストの襲撃を受け死亡。犯行の詳細は不明なるも、テロ・グループは、警護隊員の殺害後、武器を奪って山岳地帯に逃亡した模様。周辺では、軍によるテロリストの掃討作戦が展開された【テロ】

③ シェルシェル地区

- (1) 3月12日、国道11号線において道路封鎖。同月8日、速度超過、車線逆走運転を原因とする交通死亡事故が発生し、住民・遺族関係者等が憤慨、12日の被害者葬儀終了後、道路整備等を求め、国道上下線を約2時間にわたり封鎖【抗議活動】
- (2) 3月16日、庶民区画の整理に立ち会ったシェルシェル区長が、暴漢に襲われ重体。区画整理で一部の住民の反感を買った模様【一般犯罪】

④ フーカ地区

5月12日、同地区中心部の商業区域において、警察は、不審物件の設置に関する住

民通報を受けて出動、現場付近の検索を行った結果、手製爆弾2個を発見、同地区内で解体した。【テロ】

⑤ ティパザ地区

1月7日夜間、保養観光施設付近の道路で、頭蓋骨骨折の死体が発見された。死体の損傷状況から、自動車による死亡ひき逃げ事件の様相【一般犯罪】